

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	利用者の出来る事に目を向け一緒に役割活動等を行っているが、利用者によっては一方的な介護になってしまう事がある	出来る事が少ない利用者に対し、出来る事を把握し職員間で共有し関りを多く持つ事で利用者にとって達成感のある生活を送れるようにする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役割活動時に実際に行ってみて、出来た事や難しかった事をケース記録に記載し職員間で共有する</li> <li>・ユニット会議や日々の業務の中で職員同士意見を出し、どのような関わりや支援を行えば出来る事が増えるのか考え実際に取り組む</li> </ul>	12ヶ月
2	23	日々の生活の中で、一人一人の意見を汲み取っているが、他利用者の意見に同意し、思いが反映されていない事がある	何かを決める際は一人一人個別で意向を確認する。また、把握が困難な利用者に対しては生活歴やご家族からの話し表情から汲み取れるようにする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の会話を大切にし、日頃から何が好きかどんな生活を送りたいか等の把握に努める</li> <li>・何かを決める際は他の利用者の意見に流されないような環境で個々に伺う</li> <li>・自ら選ぶ事が困難な利用者に対して、改めて生活歴を見直し、面会時等ご家族から話しを伺い反映させる</li> </ul>	6ヶ月
3	21	普段から利用者同士の関りがあり支え合っている場面が多く見られているが、言葉が強い利用者の発言等で生活が楽のしめる場所になっていないのではないかと	利用者同士の関わり合いで心配や不安になる事なく生活を送れるようにする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者同士の関わり合いが見られた際は側で見守りし、言葉が強くなったりトラブルに発展しそうな際は職員が間に入る</li> <li>・利用者同士が関わり合える様、孤立している利用者が居る際は声掛けし職員と一緒に利用者との会話等を楽しんでもらう</li> </ul>	3ヶ月
4	38	一人一人のペースで楽しみを持って生活を送って頂いているが、活動等がパターン化しその人らしい暮らしの把握や希望に沿った支援が不足している	本人の希望に沿った活動(外出やレクリエーション)を通し利用者一人一人の生活を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の幅を広げ、利用者一人一人が選べるようリスト化する</li> <li>・やりたい事やどの様な生活を送りたいか普段の関わりや生活歴を見直し把握する。また、ケース記録に残す事で職員間で情報共有を図る</li> </ul>	6ヶ月
5	48	役割活動や楽しみ事、気分転換等の支援を行っているが、利用者によって偏りが見られている	本人から発信できない利用者に対して、ご家族からの情報や生活歴を基に馴染のある場所へ出掛けたり好きな事を行う事で楽しみのある生活を送れるようにする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来る出来ないを決めつけず、職員が一緒に行う事で出来る事の把握に繋がり本人の満足感に繋げる</li> <li>・新たに出来る事を見つけた際や外出先で表情が良かった場所等を職員間で共有する</li> </ul>	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	意思疎通が困難な方や、他利用者の意見に同意する方の希望や思いを汲み取れない時がある	・聞き取りの際は、本人の居室やリラックス出来る場所で一人ひとり意向を確認する ・把握が難しい利用者に対しては、生活歴や趣味などから推測し、表情や仕草で汲み取れるようにする	・他利用者の影響が無いように聞き取りは個々に行う ・日常生活の中で、何気ない会話から利用者の思いを引き出し、把握に努める	6ヶ月
2	27	日々の利用者の様子や連絡事項をケース記録や申し送りノートで確認し情報共有を行っているが、統一ケアまで時間がかかっている	・情報は詳細に且つ端的に記録し、それを基に統一ケアを図る	・ケース記録時は定型文にならないよう、本人が話したことだけでなく、表情や感想なども記録し、ケアプラン作成の情報として活用する ・出勤時には必ずケース記録と申し送りノートを確認し、職員間で口頭での申し送りも行い、情報の共有を図る	3ヶ月
3	49	定期的な外出はあるが、行き先は職員が決められている事が多く、利用者の要望に沿った外出が少ない	・利用者の行きたいところを聞き取り、出来る限り対応する	・利用者の馴染みある地域やお店を把握する ・日常生活の中で(テレビ等を一緒に見て)、食べたい物や行きたいところについて話をし、情報を共有する	6ヶ月
4	48	活動の際、全員に同じものを提供している事が多く、個別の対応が少ない	・利用者一人ひとりの得意な事や好きな事を活かせるような活動の提供を行う	・利用者一人ひとりの趣味や生活歴を把握する ・可能な限りで職員が付き添い、個別に活動を行う	6ヶ月
5	21	職員が仲介に入っても、利用者個々の性格やこだわり、認知症の度合いなどもあり、トラブルになる事があった	・嫌な思いをする事無く、良好な対人関係を築く事ができる	・会話の内容やその時の表情を観察し、トラブルに発展する前に職員が間に入り、話題を変えたりお互いの距離をとる等の対応を行う。職員へ話があった際は傾聴し、安心して過ごしてもらえるようにする。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	・入居者様の希望や意向を聞き取りし、本人の思う過ごし方を提供しているが、時間に囚われ職員本位の過ごし方を提供する事があった。 ・共同生活という特性上必ずしも自分のペースで過ごせる訳では無い事もある。	・職員本位にならないようにする。 ・集団生活の中でも出来るだけ希望に沿った生活を提供する。	・その入居しさを尊重し、ユニット職員で共有する。 ・楽しみ事を把握・提供する事で生き生きとした暮らしを目指す。 ・特定の入居者の希望に偏らないように業務を見直し、皆が自由に生活出来るよう過ごし方を提供する。	6か月
2	36	・意思疎通困難な入居者様の思いを汲み取る事が困難。職員が汲み取れない事でストレスを抱えてしまう。 ・選択肢を提示しても表出しにくい方の場合職員が決めてしまう場面があった。	・自己決定できる事で自尊心や生活の質が向上する。	・状態に合わせて言語だけでなく非言語(写真や絵等)を用いて選択してもらう。 ・日頃の会話や様子、活動や食事の際もご本人の反応から汲み取る。 ・ケース記録やノートを活用しユニット職員で情報を共有する。 ・家族と連携し、好みや意思疎通方法を共有する。	6か月
3	47	・役割活動の参加が偏ってしまう事がある。 ・活動のバリエーションが少なくマンネリ化する事があった。 ・ただ一日を過ごしているだけに見え、楽しみ事や気分転換の提供が不足していた。	・入居者様全員が楽しみ事を持ち、生き生きとした表情で過ごす事が出来る。 ・メリハリのある生活を実感できるような活動や気分転換を提供する。	・日頃から入居者様の表情や仕草・様々な反応等を観察し、記録や申し送りを残す。それを基に活動や楽しみ事を提供し反応を見ながら見直す等していく。 ・これまでの活動等に囚われず、他ユニットと協働した活動や他事業所で提供している活動等も取り入れ提供する。 ・趣味や興味に応じた個別活動を取り入れる。	6か月
4	28	・コロナ禍ということで外出や他者との関わりが少なかった。 ・地域に出向いての活動や受け入れが少なかった。	・更に外出の機会を設け買い物など他者との関わりを増やし、地域で生活している事を実感できる。	・入居者様の希望を確認し、積極的に外出に出掛ける。 ・地域で生活していることを実感できるように、自宅近くや思い出の場所へのドライブなどを取り入れる。	6ヶ月
5	27	・細かな様子をケース記録に入力しケアに活かしているが、統一ケアに至っていないことがある。 ・入居者様の状態の変化が目まぐるしい時等は対応にバラつきがある時がある。	・細かな情報を記録し、それを基に統一ケアを図る。 ・危険性の共有など気付きを増やし周知を徹底する。	・ケース記録や申し送りは出勤後に必ず確認し、最新の情報を基にケアにあたる。 ・気付いた様子や姿を記録に残し、他職員も把握出来るように申し送る。 ・ヒヤリハット報告書を基に危険性を共有する。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	決まっている一日の時間の流れと集団生活を重視してしまい職員の都合を優先してしまいがちである。	時間にとらわれず本人希望を重視し、自分のペースで生活ができるよう支援する。	一日の時間の流れの見直しを行い時間にとらわれずに入居者個人個人と接する時間を増やし、会話の中からその人らしさの情報を把握し日頃のケアに活かし支援していく。	12ヶ月
2	36	意思疎通が困難な方や遠慮しがちな方からの希望や思いを汲み取るのが困難である。	一人一人の希望の表出や自己決定が出来る様な環境を作る。	日常の会話で出た言葉を聞き逃すことなく情報を収集し、希望や思いを把握する。言葉を発する事が困難・意思疎通が困難な方場合は表情や生活歴から希望や想いを汲み取る。又、最初から答えを求めずに選択肢を設けながら徐々に見つけていく。	6月
3	35	難聴や認知症の進行に伴う理解力の低下により、転倒等の危険を予測してしまうと強めの口調で制止してしまう時がある。他の方の見守りをしながらのトイレ介助の際、扉をしっかりと締めずに対応する時がある。又、馴れが生じ適切でない声掛けになってしまう事がある。	一人一人の人格や尊厳を尊重した対応が出来る。	常に職員同士が注意し合えるような環境を作る。定期的なミーティング・日頃の話し合いで気付いた点を話し合い改善する。	6ヶ月
4	47	一人一人の生活歴や出来る力を活かして役割活動を行っているが、認知症の進行に伴う理解力低下やADLの低下により特定の片に偏ってしまっている所がある。又、内容がマンネリ化している様子もみられる。	認知症の進行による理解力低下・ADLの低下がみられても出来る事を見つけて生きがいやハリを持って生活を送れる。	出来なくなった事には固執せず、新しく他の事が出来ないかを日常の関わり合いから探し、発見した事は職員間で共有し協力し合い機会を提供していく。	6ヶ月
5	21	行動を予測してトラブルを防ぐようにしているが、些細な事から一方的に相手の事を悪く思い込んでしまい被害妄想となり、一人で悩んでしまう事があり対応が難しい方がいる。	良好な人間関係を築き楽しく生活を送ることが出来る。	会話の内容や表情を観察し、トラブルになりそうな時は職員が間に入り、話題を変えたりお互いの距離を無理なく取る様にしたり役割活動や散歩などで気分転換を図る。職員に訴えがあった場合は、傾聴に徹する。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。